

2019 年度

学生生活満足度・実態調査報告書

1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

2. 調査対象

2019年7月時点で本学に在籍する全学生を対象とする。

3. 調査日時

2019年7月22日から7月24日

4. 調査方法

QRコードを配布し、iPadから記名式で回答する。学生に調査目的と趣旨を説明し、学生に自由意思で調査を行う。

5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6項目、「Ⅱ.屋内施設」15項目、「Ⅲ.屋外施設」3項目、「Ⅳ.大学生活全般について」5項目の満足度に関する質問事項を設定し、「Ⅴ.総合的な学生生活について」の満足度調査を行った。以降は実態調査として、「Ⅵ.通学形態と経済状況」3項、「Ⅶ. 修学の状況」では学修時間や学習内容について5項目、「Ⅷ. 課外活動」ではアルバイトやボランティアについて5項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」2項目の調査を行った。また各設問と調査用紙の最後に回答者の具体的な意見等を受けるための自由記入欄を設けた。

6. 調査数

本調査の集計分析対象とした学生は303名(休学者6名除く)である。うち協力の得られた学生数は269名であった(回収率:89%)。

(学年別の回収率)

学年	回答数	回収率
1年生(83名)	81名	98%
2年生(79名)	60名	76%
3年生(67名)	66名	99%
4年生(74名)	62名	84%

(男女別の構成比)

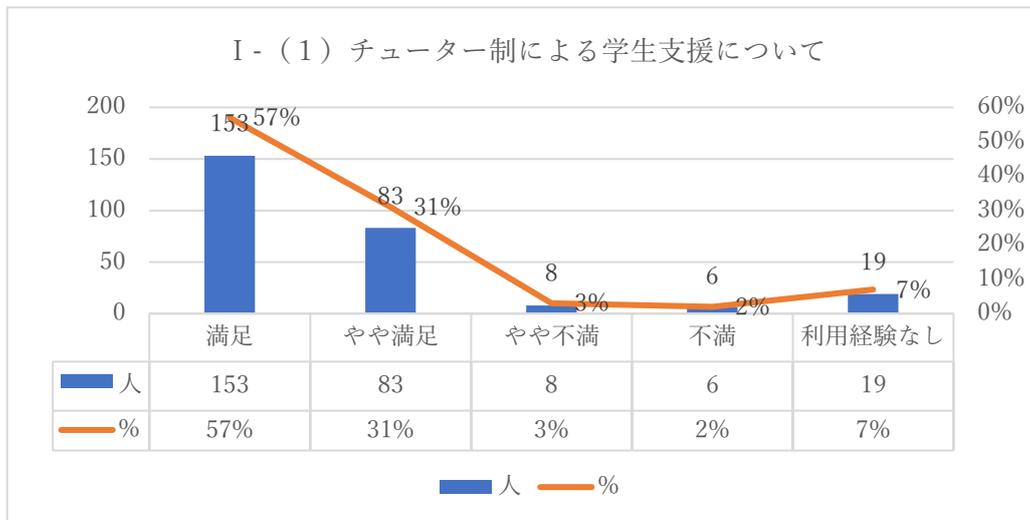
性別	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	構成比
男性	18名	11名	13名	15名	57名	21%
女性	63名	49名	53名	47名	212名	79%

I. 学生支援について

(1) チューター制による学生支援について

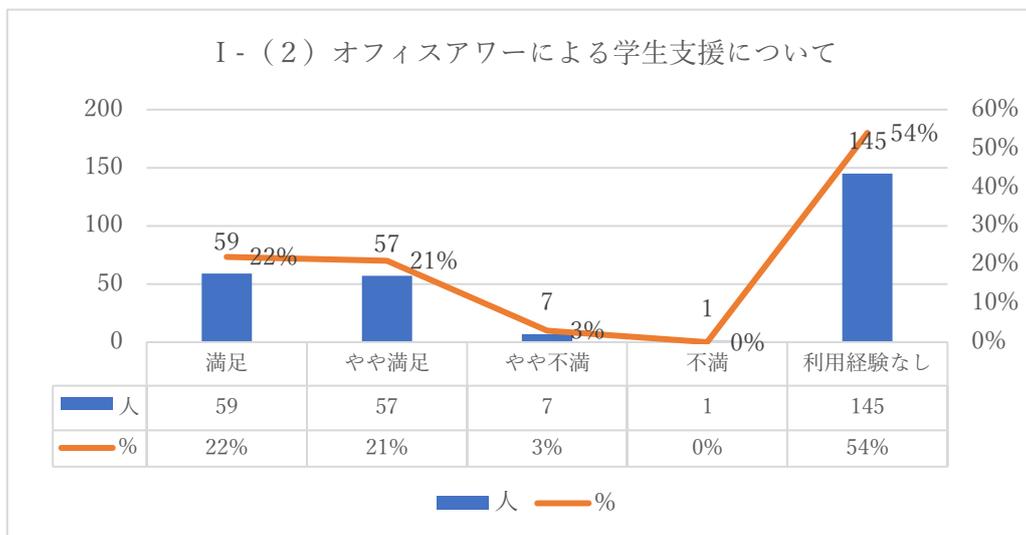
回答者のうち、チューター制度による学生支援に対する満足度は「満足」と「やや満足」を合わせた割合が81%程度、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が11%であった。チューター制度に対して8割近くの学生が概ね満足しており、前回調査（平成29年度実施）の「満足」27%と比べ今回は50%に増加していた。

しかし、自由記載では「学生対応がチューターによって差がある」という学生が複数名いた。また、「チューターを知らない・利用したことがない」「チューターが親身になって話を聞いてくれない」「チューター制は必要がない」という学生もいた。全教員がチューターとしての役割を再認識して学生と向き合う必要がある。



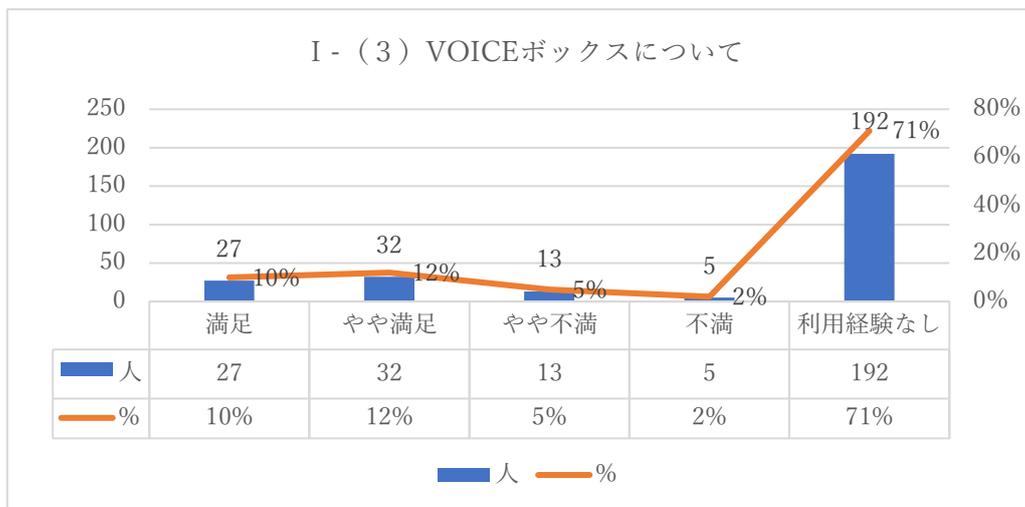
(2) オフィスアワーによる学生支援について

「満足」「やや満足」を合わせた学生の割合は43%で、昨年の36%と比べて満足している割合が上昇しているが、「不満」「やや不満」を合わせた学生の割合は3%で、昨年に引き続き減少している。また、「利用経験なし」を回答した学生が54%おり、昨年より少し減少した結果となった。



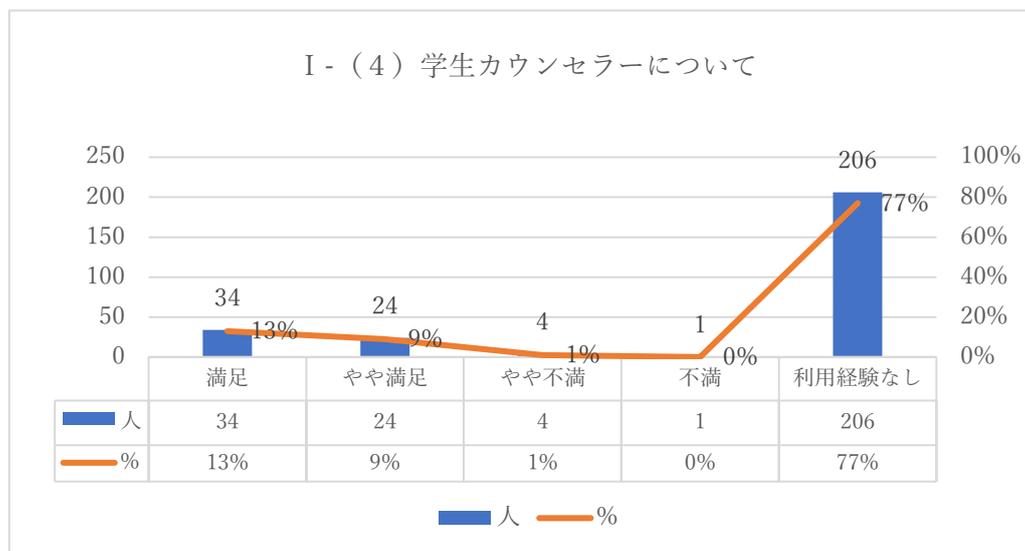
(3) VOICE ボックスについて

VOICE ボックス利用経験なしの学生の割合が前年調査の70%とほぼ変わらない71%であった。また、「満足」「やや満足」を合わせた割合が前回調査の16%から今回は22%と満足度は増加傾向にあった。



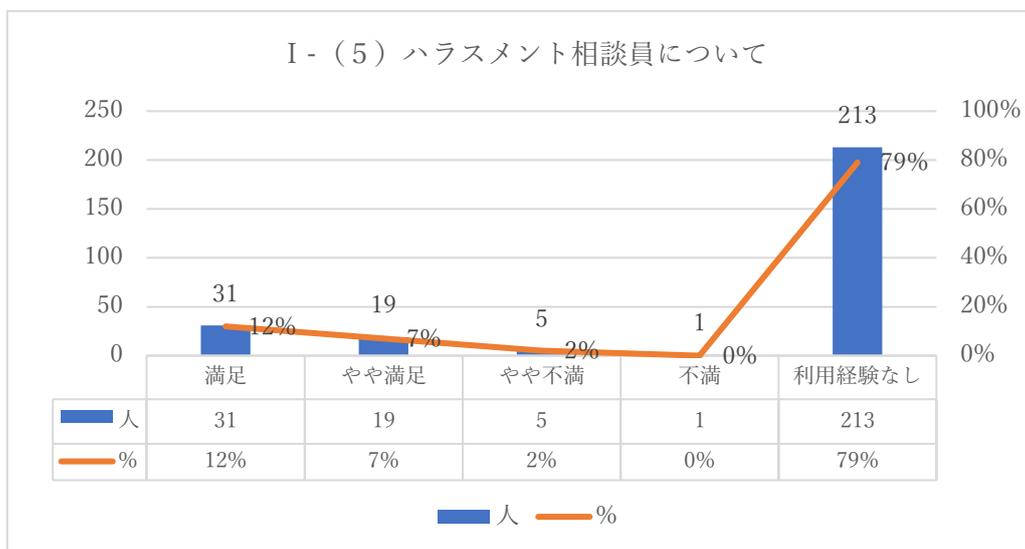
(4) 学生カウンセラーについて

学生カウンセラー利用経験なしの学生が前回調査の81%に比べて今回は77%と減少しているが、「満足」「やや満足」を合わせた割合が前回調査の17%から今回は22%と増加していた。「やや不満」「不満」は昨年度の2%とほぼ同様の1%であることから利用者は満足していると考えられる。



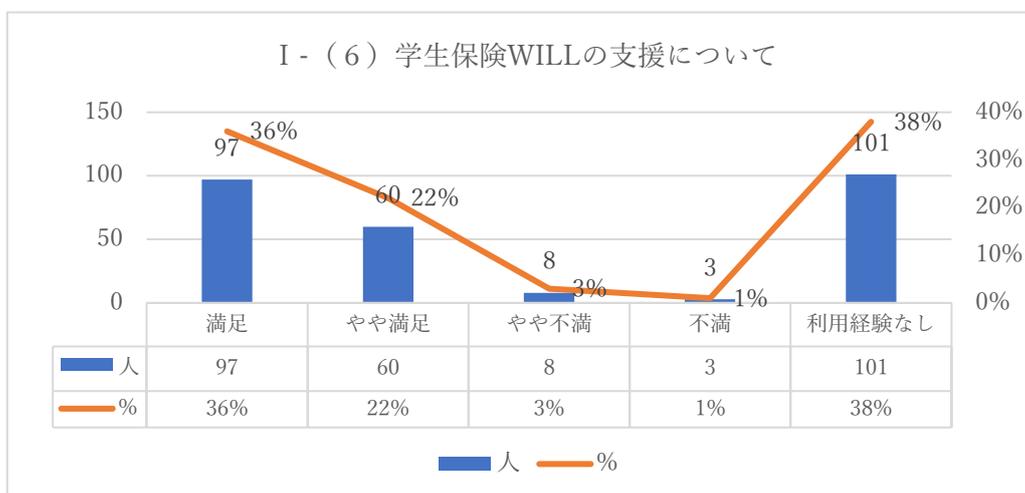
(5) ハラスメント相談員について

ハラスメント相談利用経験なしの学生が前回調査の 83%から今回は 79%と減少し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が、前回調査の 16%から今回は 19%と増加していた。



(6) 学生保険 WILL の支援について

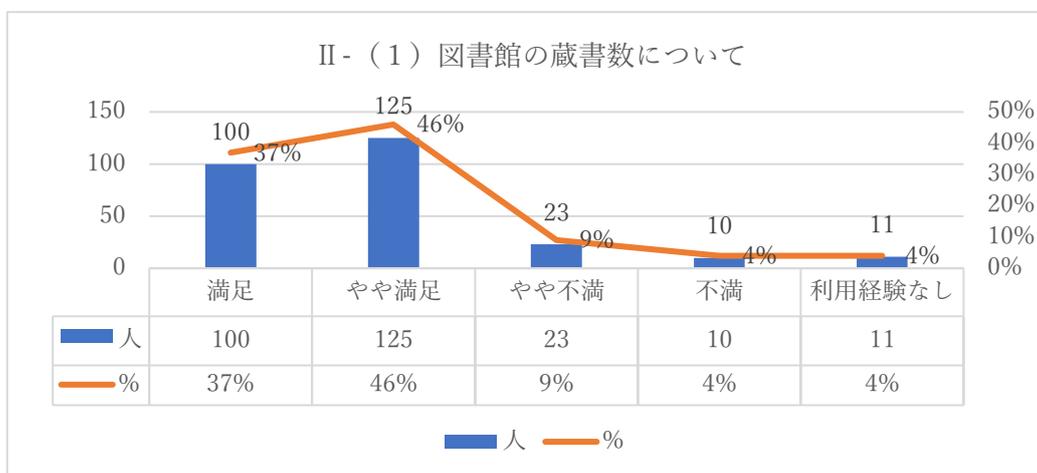
学生保険 WILL 利用経験なしの学生が昨年の 43%から今年は 38%と減少し、「満足」「やや満足」を合わせた割合が昨年 54%から今年は 61%と増加していた。利用経験者が増加しており、学生保険 WILL の認識が広まっている結果であると考える。



II.屋内施設について

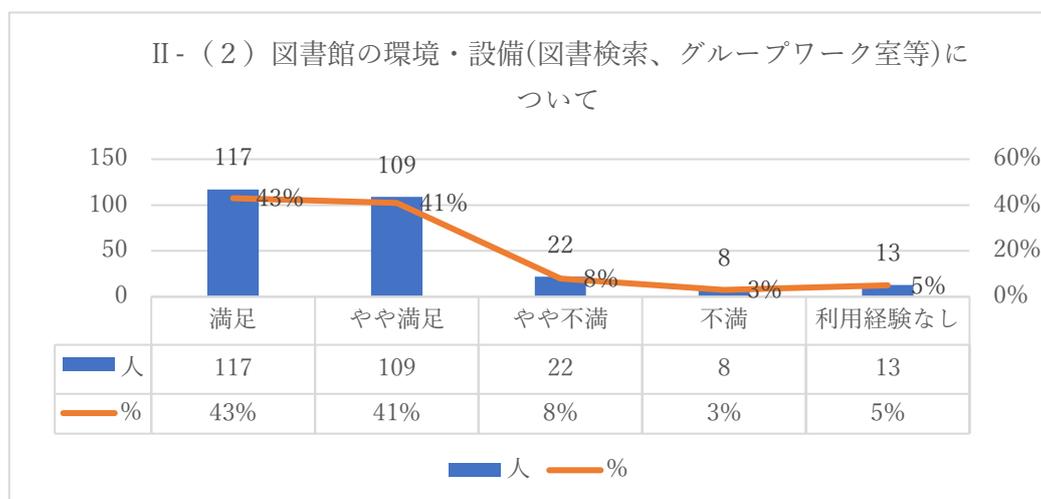
(1) 図書館の蔵書数について

図書館の蔵書数に対する満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は73%であり前回調査より僅かに減少したが、同様に「やや不満」「不満」と回答した学生も13%と減少していた。今年度も図書全般及び、医療に関する蔵書をして欲しいという意見が多くあった。

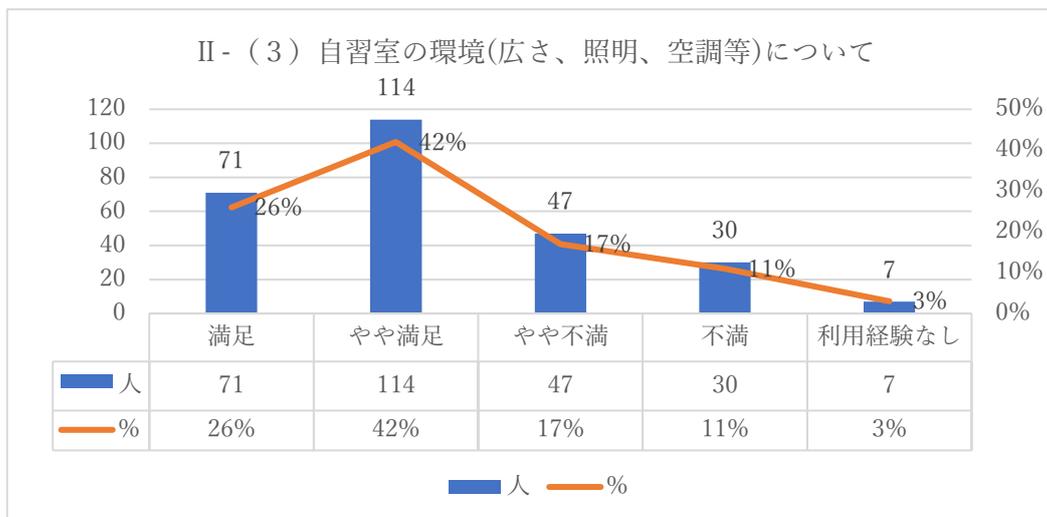


(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)について

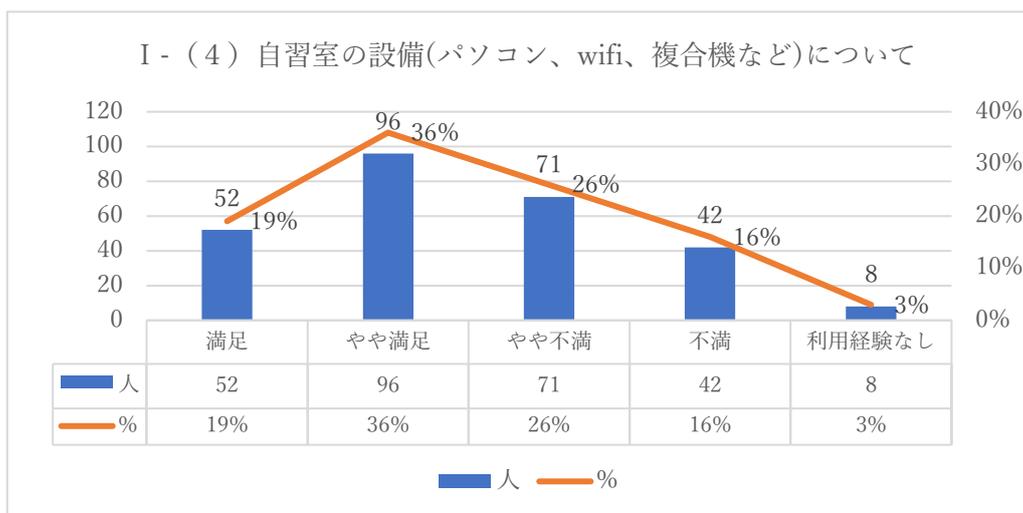
前回調査は「満足」「やや満足」88%であったが、今回は84%と僅かに減少した。



(3) 自習室の環境（広さ、照明、空調等）について



(4) 自習室の設備（パソコン、wifi、複合機等）について



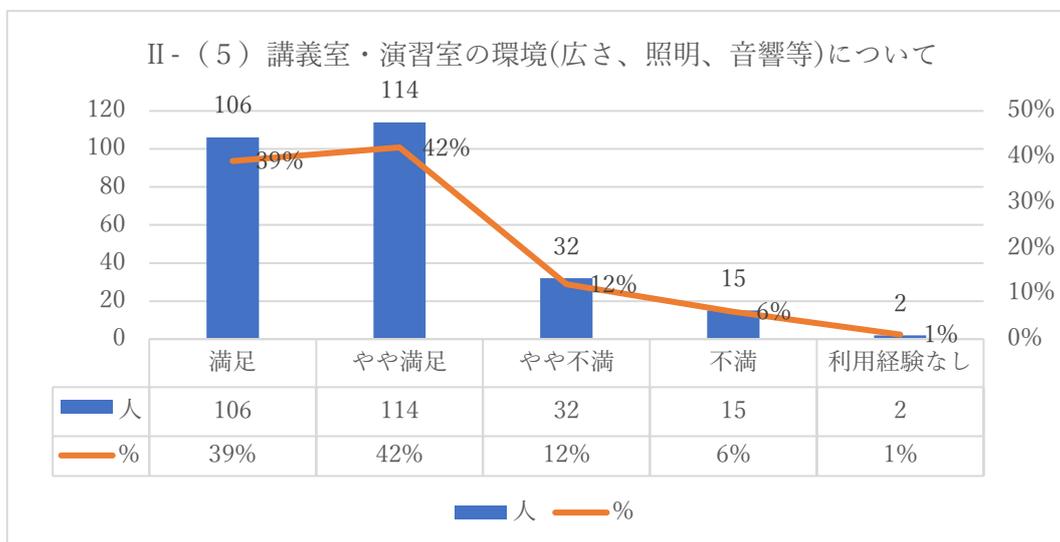
II - (3) (4) 自習室について

自習室の環境（広さ、照明、空調など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が前回調査は70%であったが、今回調査では68%と昨年と引き続き満足度が減少していた。

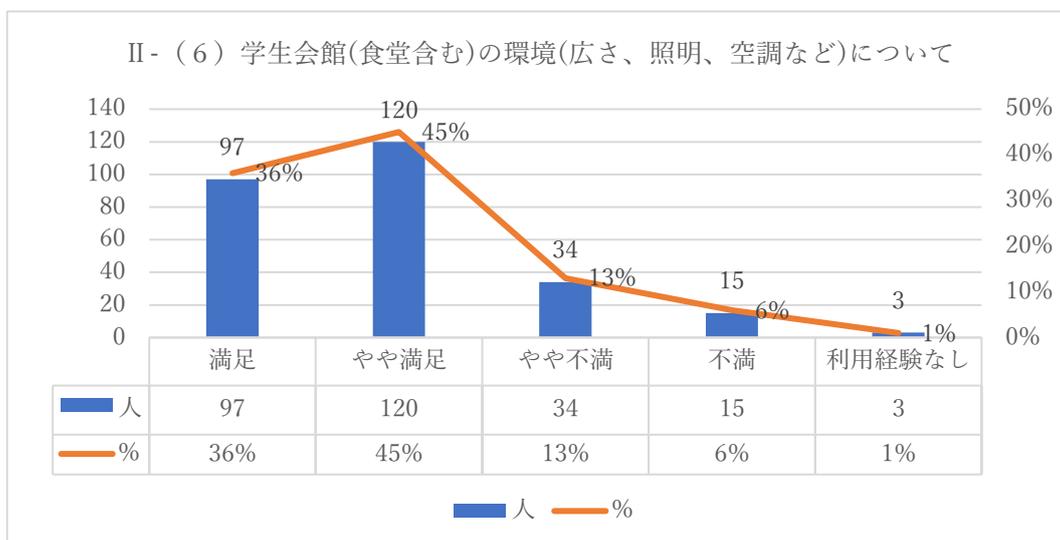
設備（パソコン、Wi-Fi、複合機など）に対する満足度は、「満足」「やや満足」と回答した学生が55%で、前回調査の69%よりも14%も減少した結果であった。不満の原因として、Wi-Fiが繋がらないが21件、パソコンが起動しない、機種が古い、印刷と繋がらないなどが23件の問題などが挙げられていた。また、自習室が狭い、少ない、うるさいなどの意見が20件以上挙げられており、環境に関わる問題は昨年と同様に挙げられた。

(5) 講義室・演習室の環境（広さ、照明、音響等）について

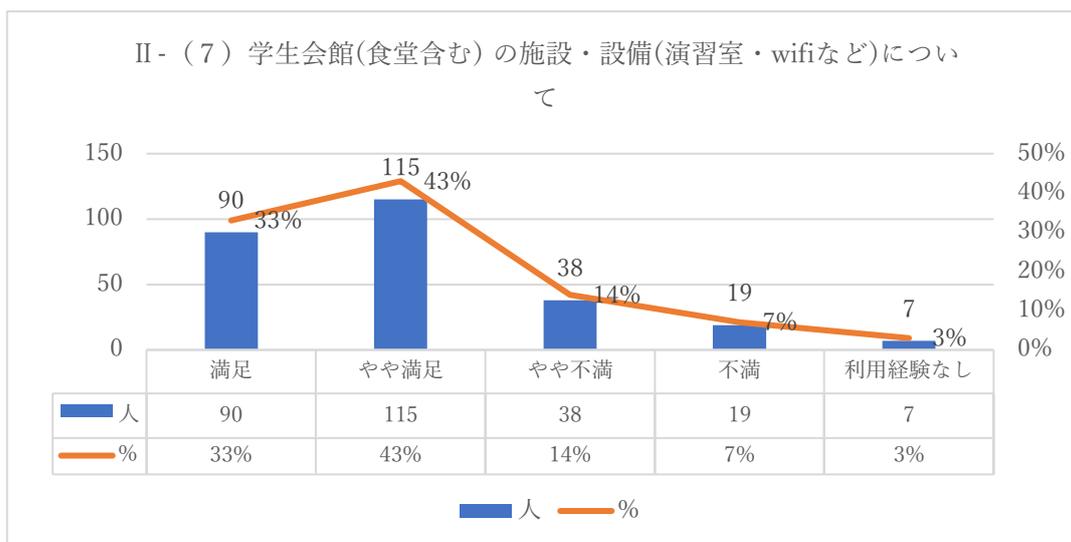
今年度は講義室と演習室を一緒にした環境（広さ、照明、音響など）についての設問とした。満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は72%であり前回調査よりも僅かに減少した。開放時間を延長してほしいとの要望に応じて時間の延長を22時迄と行ったが、図書館の開催時間を早める声や休日の演習室の開館を求める意見も多かった。



(6) 学生会館（食堂含む）の環境（広さ、照明、空調等）について



(7) 学生会館（食堂含む）の施設・設備（演習室・Wi-Fi等）について



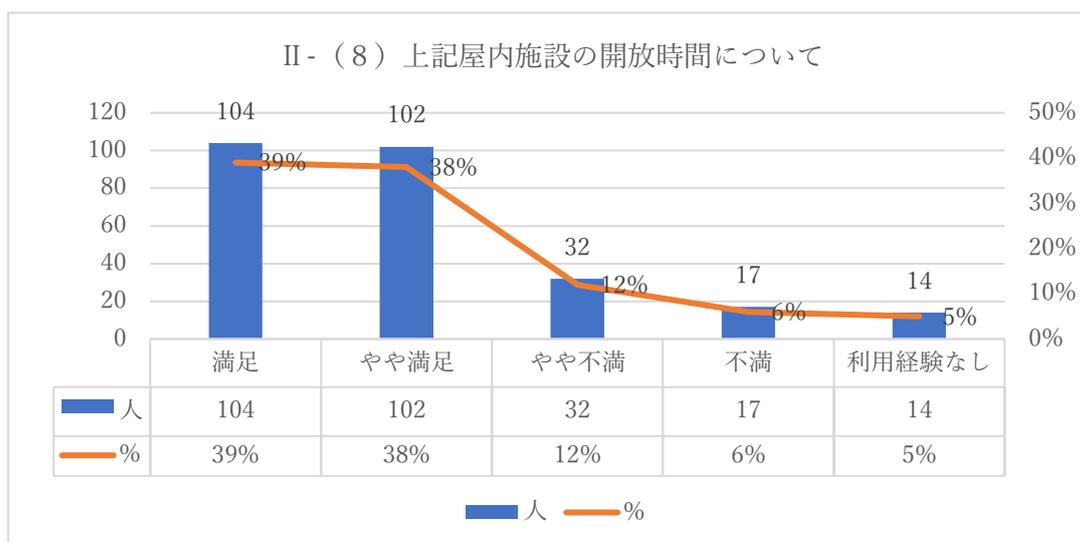
II - (6) (7) 学生会館について

学生会館の環境・施設については70~80%程度の学生が「満足」「やや満足」と回答しており、前回調査と同様の傾向にあった。また前回調査と同様に自由記載において食堂の広さや食物の自販機の増設に対する意見は見受けられるものの、学生会館の環境に対する満足度は75%から78%と僅かに上昇していた。

学生会館の設備(wifi, 複合機など)についての満足度は「満足」「やや満足」と回答した学生は76%であり前回調査の78%より減少した。学生会館のフリーwifiが「接続が弱い」「繋がりにくい」等の意見が数多く、全館がより快適に利用できるよう接続を強度化する改善がされていない点が課題である。

II - (8) 上記屋内施設の開放時間について

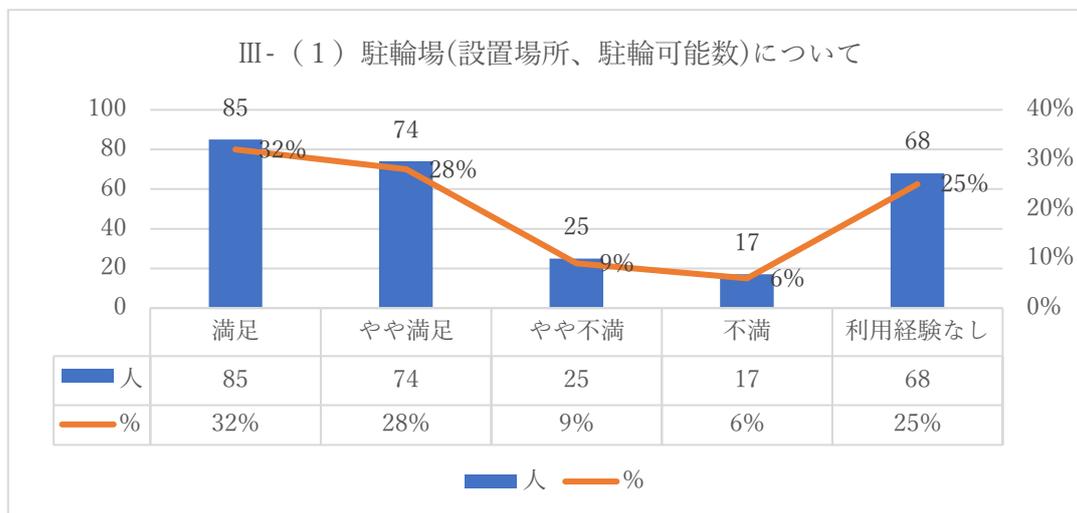
今年度は図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設を1つにまとめて開放時間の設問とした。満足度は「満足」「やや満足」は77%であり、昨年度の個別評価の平均値より増加していた。



Ⅲ. 屋外施設について

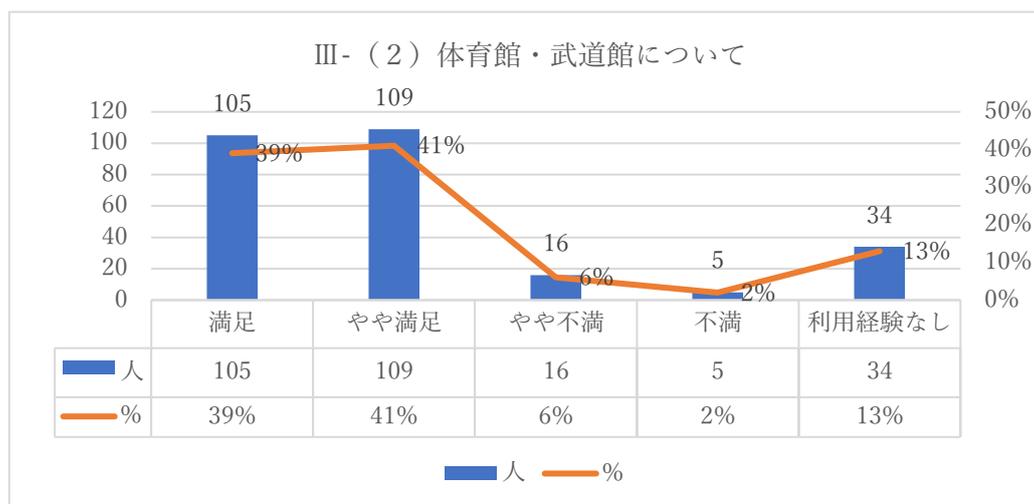
(1) 駐輪場（設置場所、駐輪可能数）について

駐輪場について、「満足」「やや満足」と回答している者が60%と昨年よりも4ポイント高い結果であった。「不満」「やや不満」回答している学生は15%となり、昨年度19%から減少した。利用したことがないと回答している者が昨年とほぼ同様（25～26%）で、利用者の中で、約半数以上の者から満足している意見がみられた。



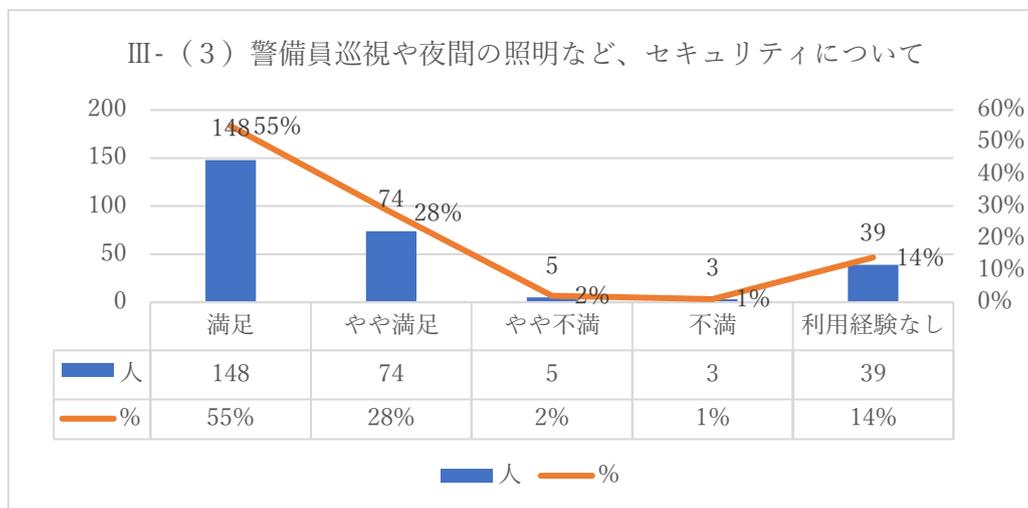
(2) 体育館・武道館について

体育館・武道館について、「満足」「やや満足」と回答している者が80%と昨年度の68%から上昇した。「不満」「やや不満」回答している者が8%で、昨年度の15%から減少した。利用したことがないと回答している者が18%から13%に減少したため、利用者が増え、満足度が増加し不満が減少している。効果的に活用できる施設づくりに合わせて今年度の予算で、体育館の補修工事を実施することとした。



(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティについて

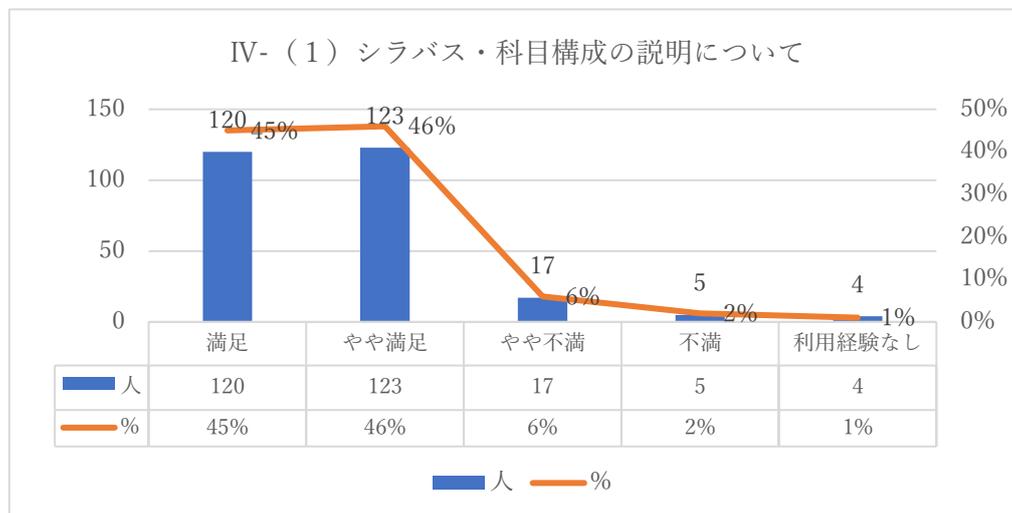
本学のセキュリティについて、「満足」「やや満足」と回答している者 83%で、昨年度より 3%増加した。「不満」「やや不満」回答している者は昨年と同様の 3%であった。利用したことがないと回答している者が 14%であった。満足度はやや増加し、利用したことがない学生も減少していた。



IV. 大学生活全般について

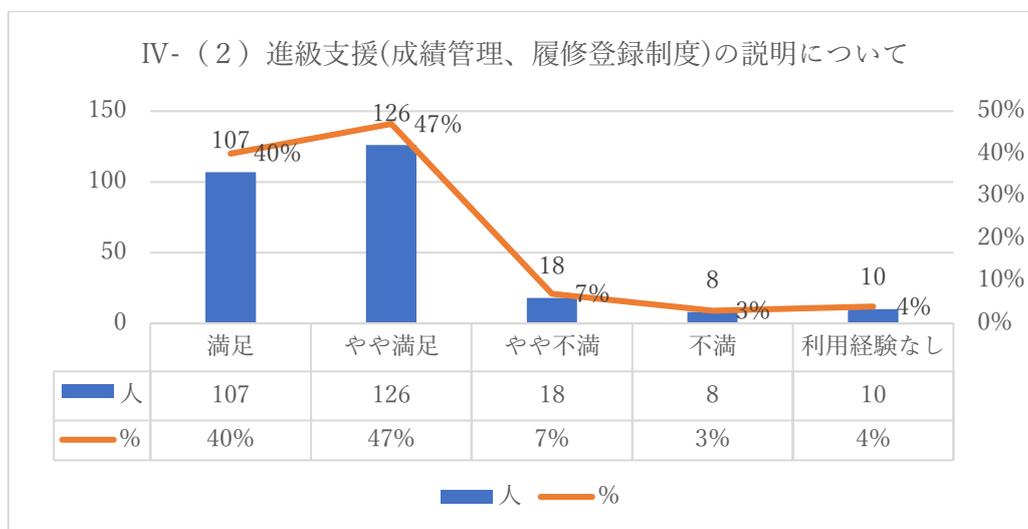
(1) シラバス・項目構成の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は 91%で昨年よりも 3ポイント高い結果であった。「やや不満」「不満」と回答した学生は 9%となり、昨年度より 1ポイント減少し、概ね満足度は高いと言える。



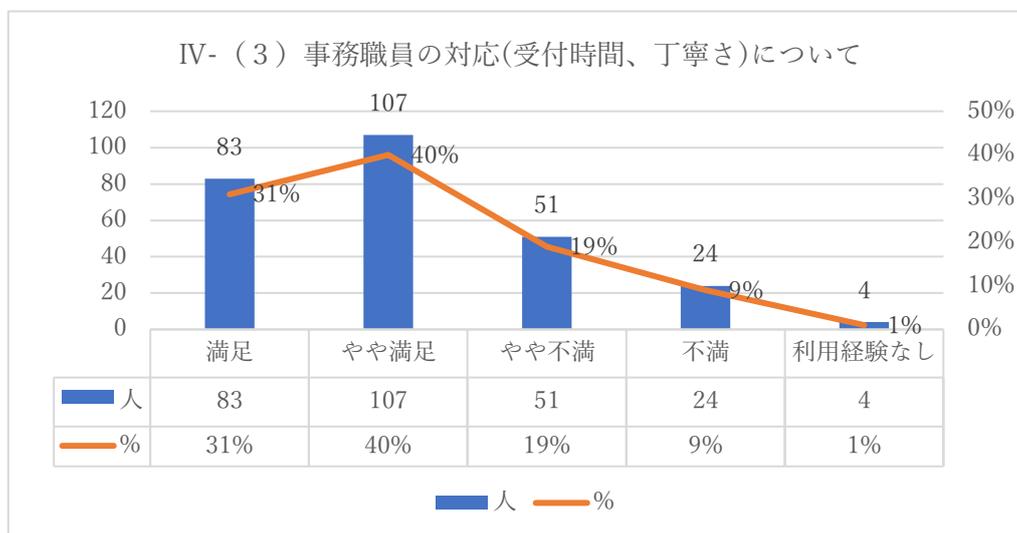
(2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明について

「満足」「やや満足」と回答した学生は87%であり、昨年の89%と比較し、満足度は僅かに減少していた。「やや不満」「不満」と回答した学生は昨年度の9%から、今年度は11%と増加しているが概ね満足していることが明らかになった。



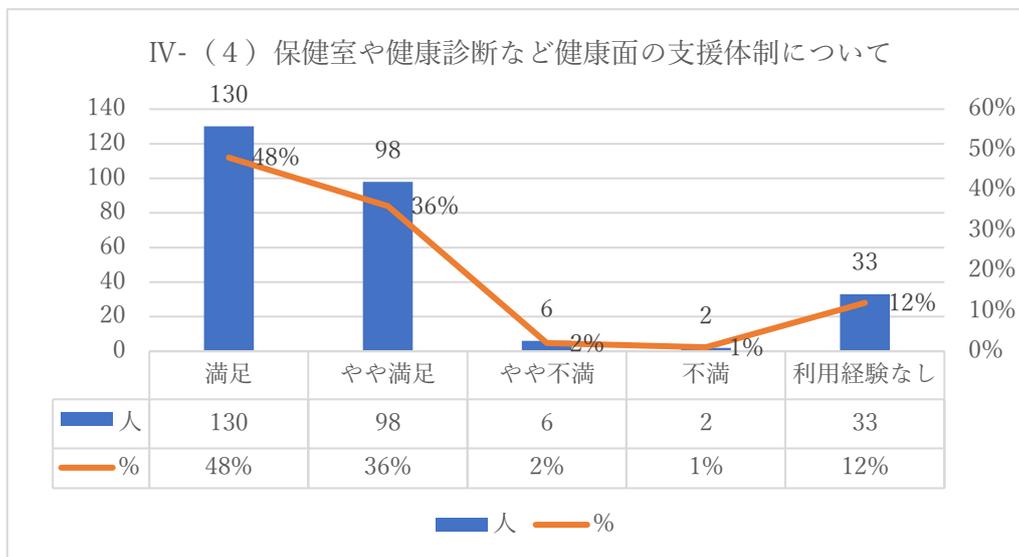
(3) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)について

「満足」「やや満足」と回答した学生は71%であり昨年よりも5ポイント減少していた。また、「やや不満」「不満」と回答した学生は28%で、昨年度より4ポイント増加していた。最も多かった意見は、職員の接遇に関する意見の18件で、次いで事務対応可能時間の延長についての9件であった。今後の対策が不可欠である。



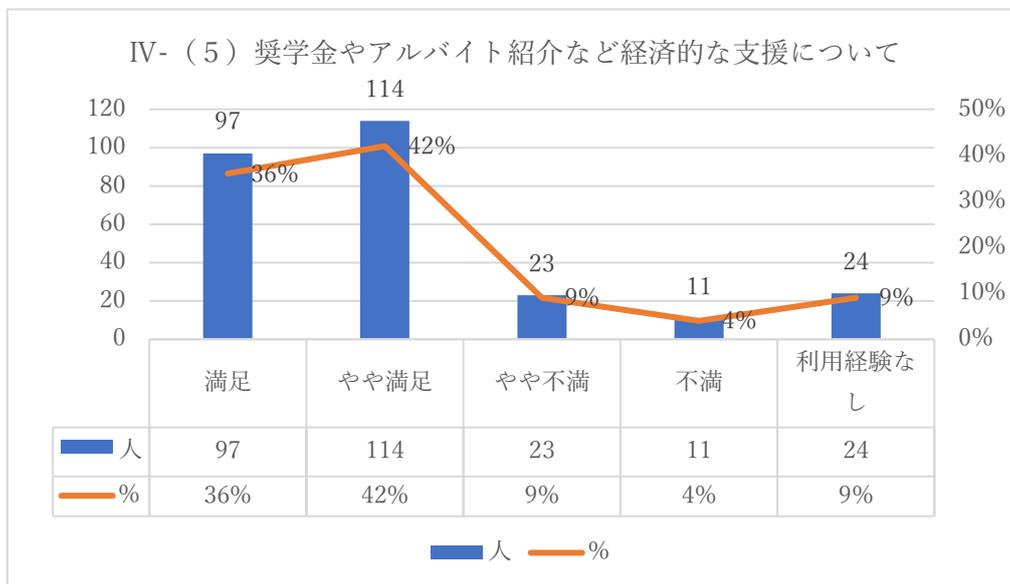
(4) 保健室や健康診断など健康面の支援体制について

「満足」「やや満足」と回答した学生は84%に達しており、昨年度より満足と回答した学生は3ポイント増加していた。また、「やや不満」と答えた学生は3%と昨年度と同様であった。「利用経験なし」と回答した学生は12%であった。このことから満足度は高いと言える。



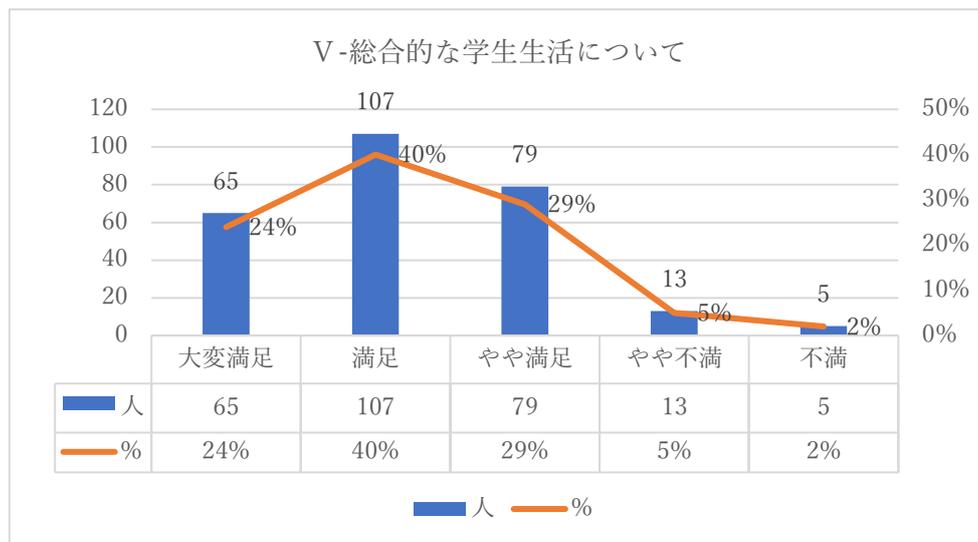
(5) 奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援について

「満足」「やや満足」と回答した学生は78%に達しており、昨年度の満足よりも1ポイントも増加していた。また、「やや不満」と答えた学生は13%と昨年度より2ポイント増加しているが、実数としては1人である。自由記載には、奨学金制度をもう少し増やしてほしい等要望がみられていた。



V. 総合的な学生生活に対する満足度について

大変満足からやや満足まで含めると 93%の学生が概ね大学生生活に満足していることが明らかになった。

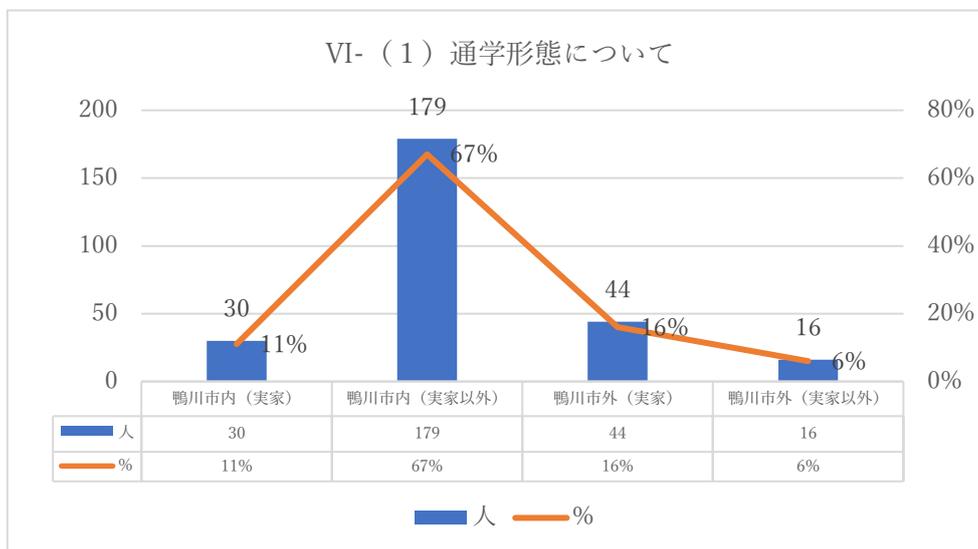


VI. 通学に関する実態について

(1) 通学形態について

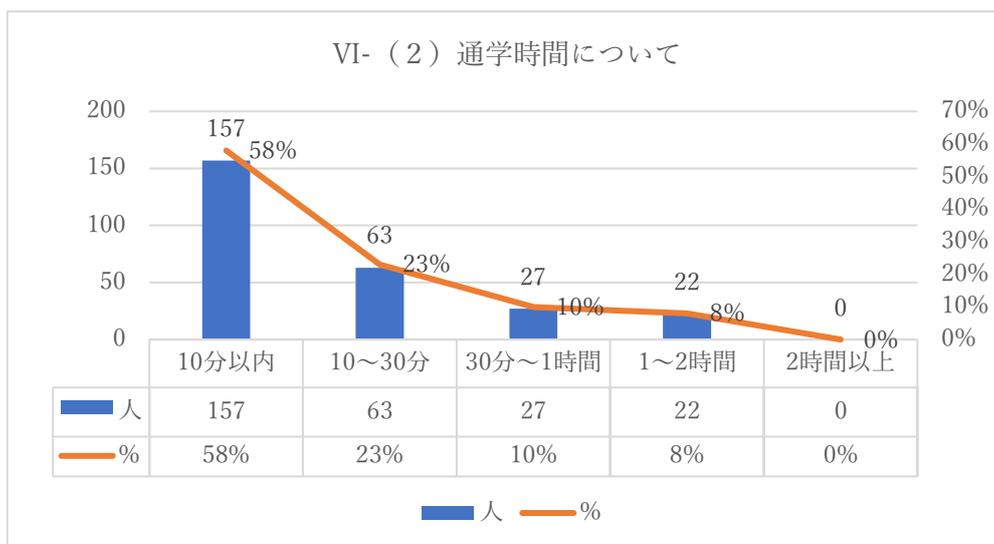
市内の自宅から通学している学生は 11%と前回調査より 1 ポイント減少している。

一方、一人暮らしの学生は 73%であり、その中の約 92%の学生が鴨川市内に居住していた。市外に居住している学生は 22%であり、前回調査と同様の傾向を示した。



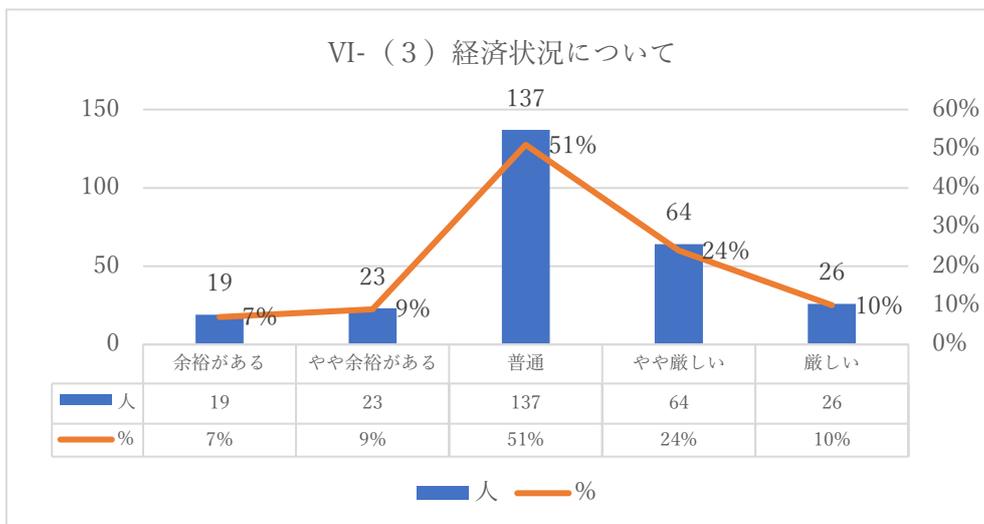
(2) 通学時間について

通学時間が30分以内の学生は81%であり、前回調査より2ポイント増加していた。



(3) 経済状況について

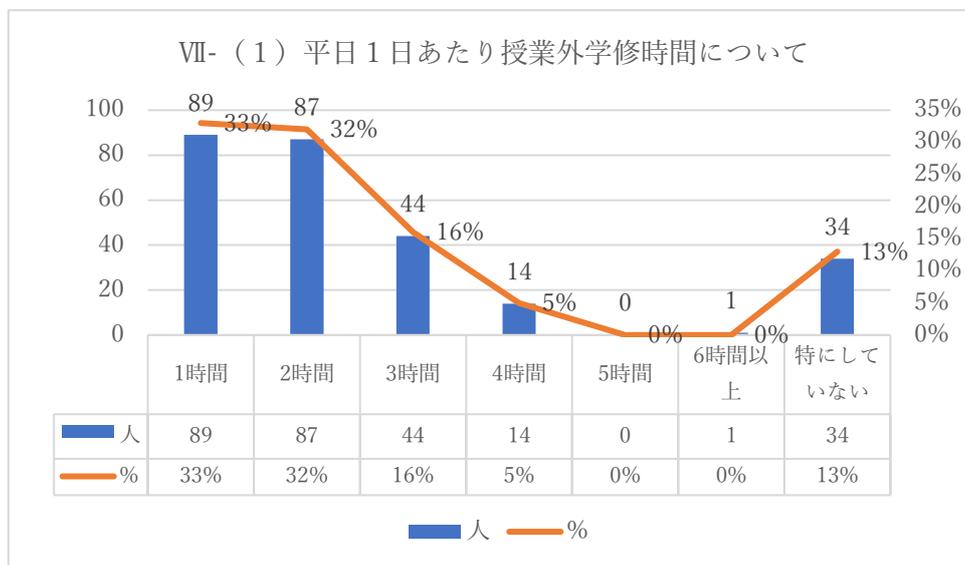
経済状況について普通と回答した学生が51%と最も多く前回調査より3ポイント増加、次いで、やや厳しい24%、厳しい10%であった。前回調査時は厳しい・やや厳しいと回答した学生は39%であり、5ポイント減少していた。



VII. 修学の状況の実態

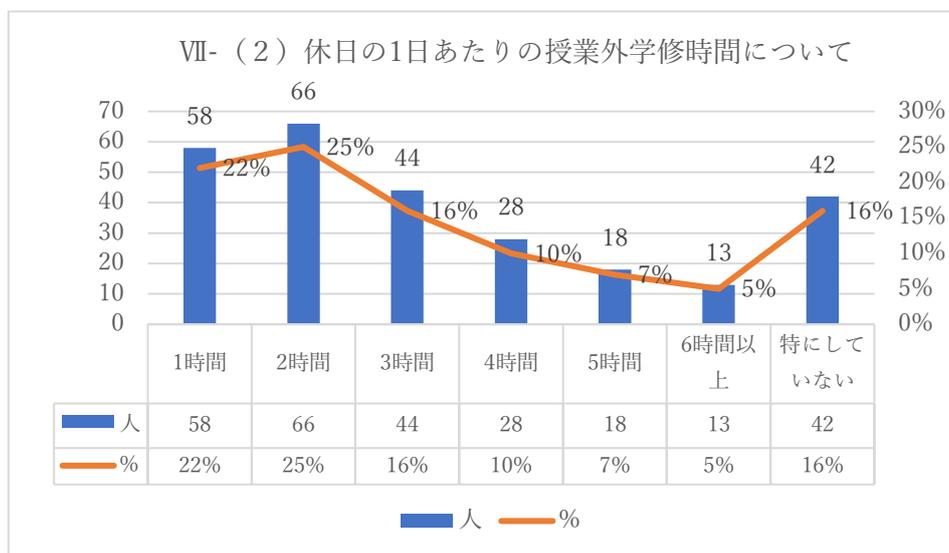
(1) 平日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの課外学修時間の多い順に1時間33%、2時間32%、3時間16%、特にしていない13%、4時間以上5%であった。



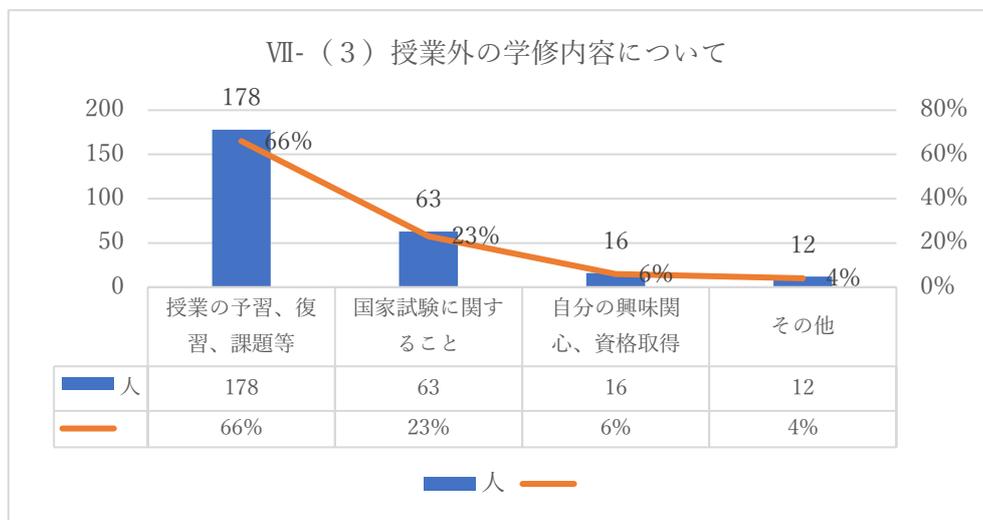
(2) 休日の1日あたりの授業外学修時間について

1日あたりの休日課外学修時間の多い順に2時間25%、1時間22%、3時間16%、特にしていない16%、4時間以上22%であった。

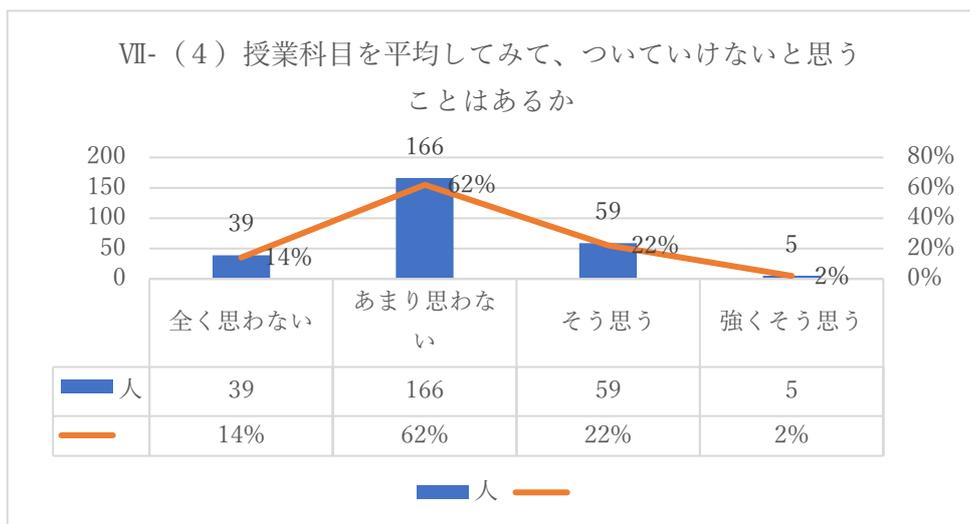


(3) 授業外の学修内容について

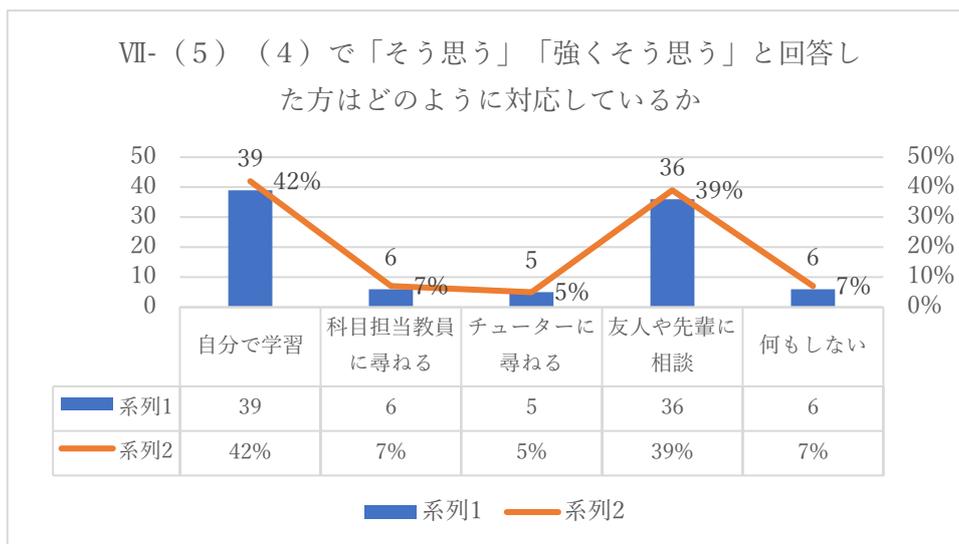
授業外学修の内容で最も多いものは、授業に関すること（予習、復習、課題）66%、国家試験に関すること23%、自分の興味関心・資格取得に関すること6%であった。



(4) 授業科目を平均してみたて、授業についていけないと思うことはあるか



(5) (5) (4) で「そう思う」「強くそう思う」と回答した方はどのように対応しているか

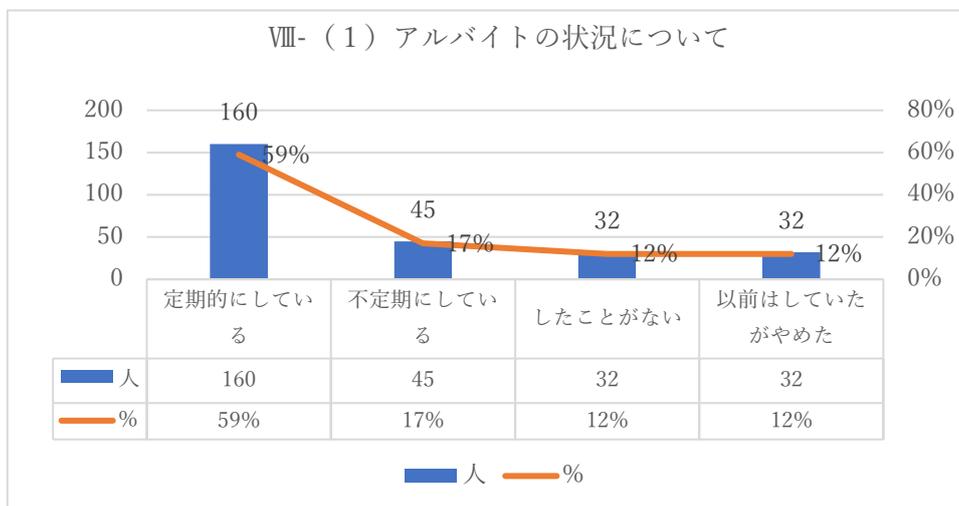


VII- (4) (5)

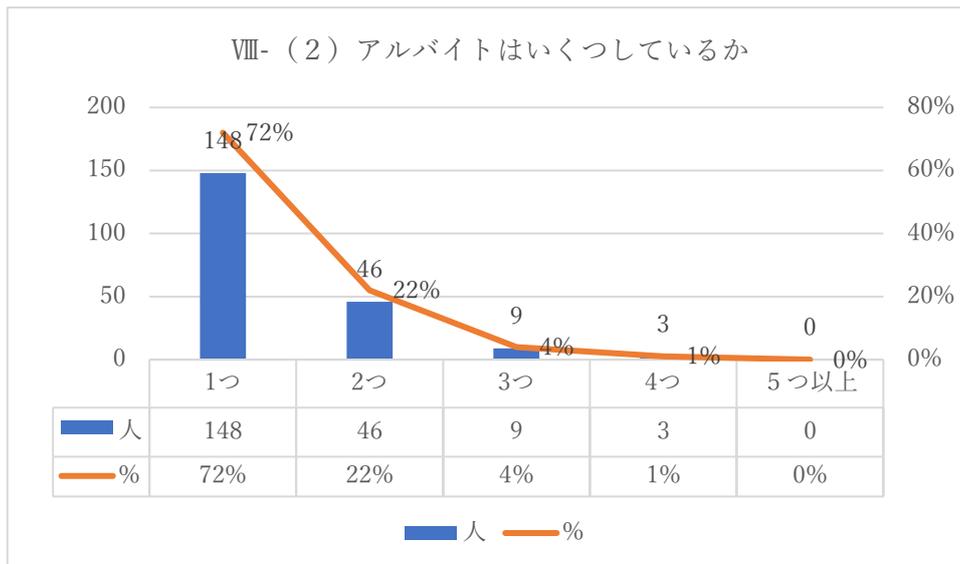
授業についていけないかどうかについて、全く思わない14%、あまり思わない62%と講義内容は76%の学生は理解できていた。しかし、22%の学生がそう思う、2%の学生が強くそう思うと回答していた。また、授業についていけないときの対応は自分で学習する42%、友人や先輩に尋ねる39%と多く、講義担当教員やチューターに尋ねている学生は全体の12%であった。

VIII. 課外活動に関する実態

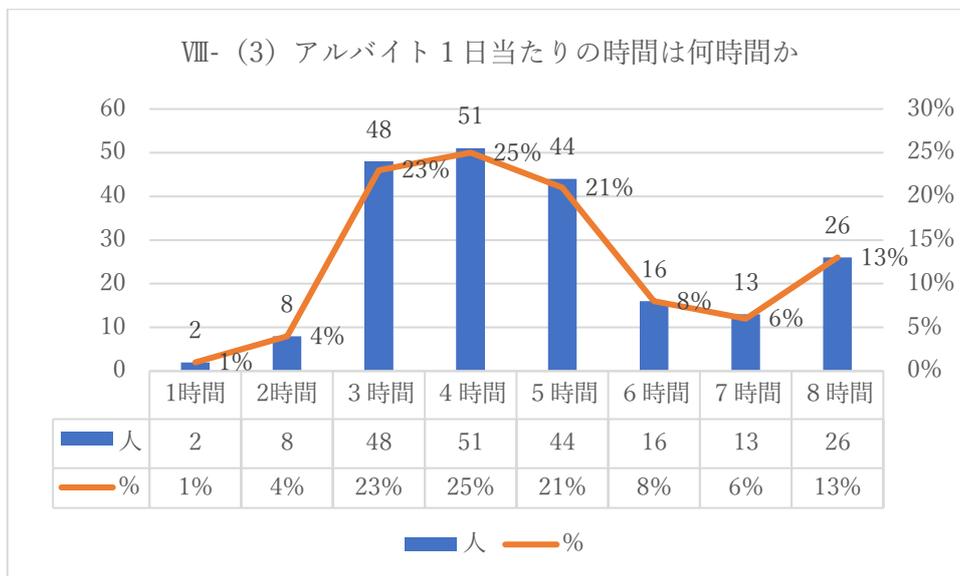
(1) アルバイトの状況について



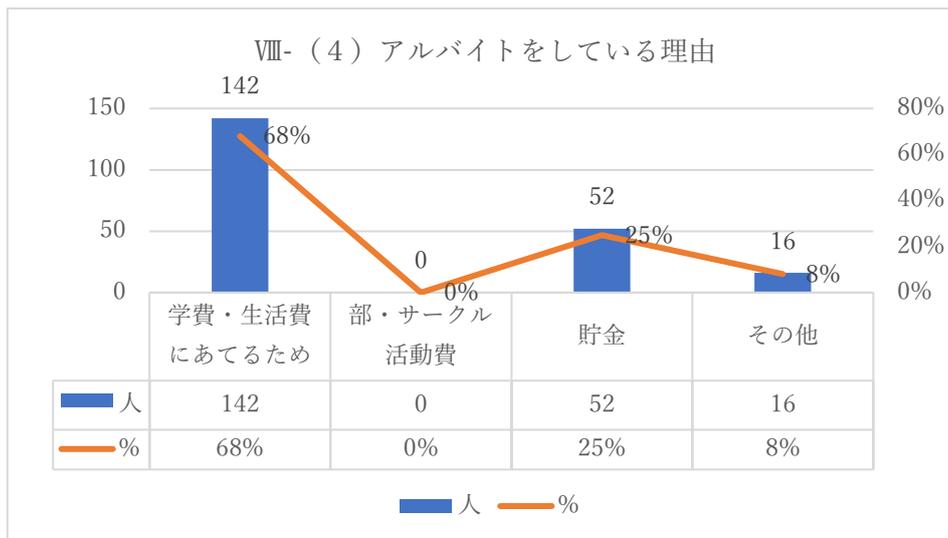
(2) アルバイトはいくつしているか



(3) アルバイト 1 日当たりの時間は何時間か



(4) アルバイトをしている理由



VIII - (1) ~ (4) アルバイトについて

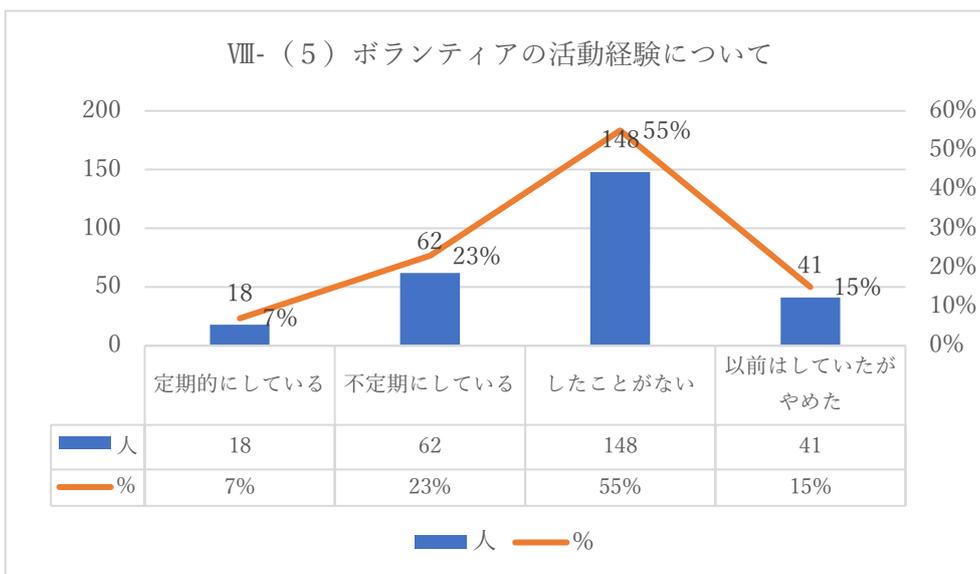
アルバイトを定期的、不定期にしている学生の割合は76%で、ほとんどの学生はアルバイト経験があった。アルバイトの数は1つが72%、2つが22%、3つ以上が4%であった。

1日当たりのアルバイト時間は多い順に4時間25%、3時間23%、5時間21%、2時間以内5%、6時間以上27%であった。

アルバイトをしている主な理由は学費や生活費に充てるための68%、次いで貯金が25%、その他8%であった。

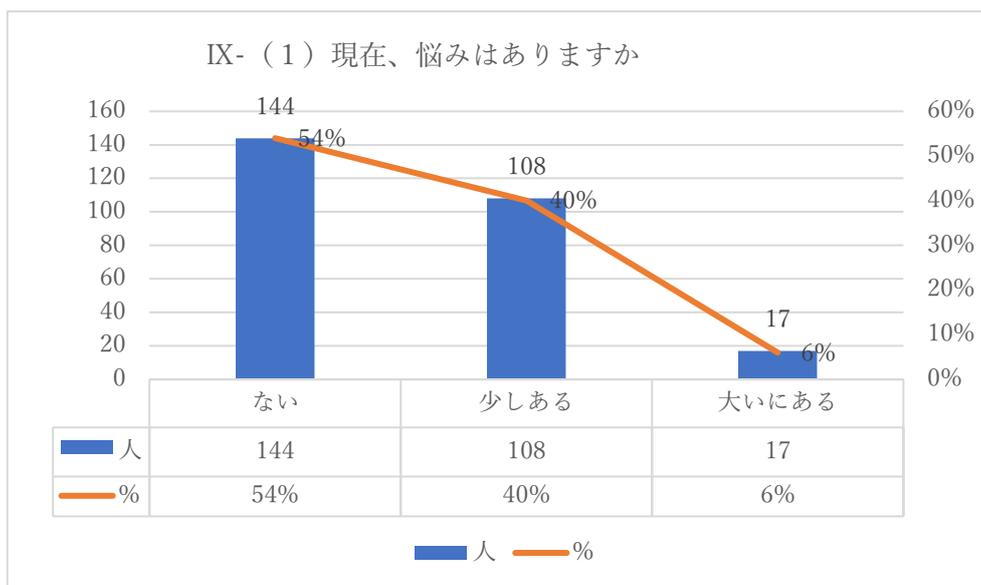
(5) ボランティアの活動経験について

ボランティアの経験について行った事がない学生が55%、不定期に行っている学生が23%、定期的に行っている学生が7%、以前は行っていたが現在は行っていない学生が15%であった。

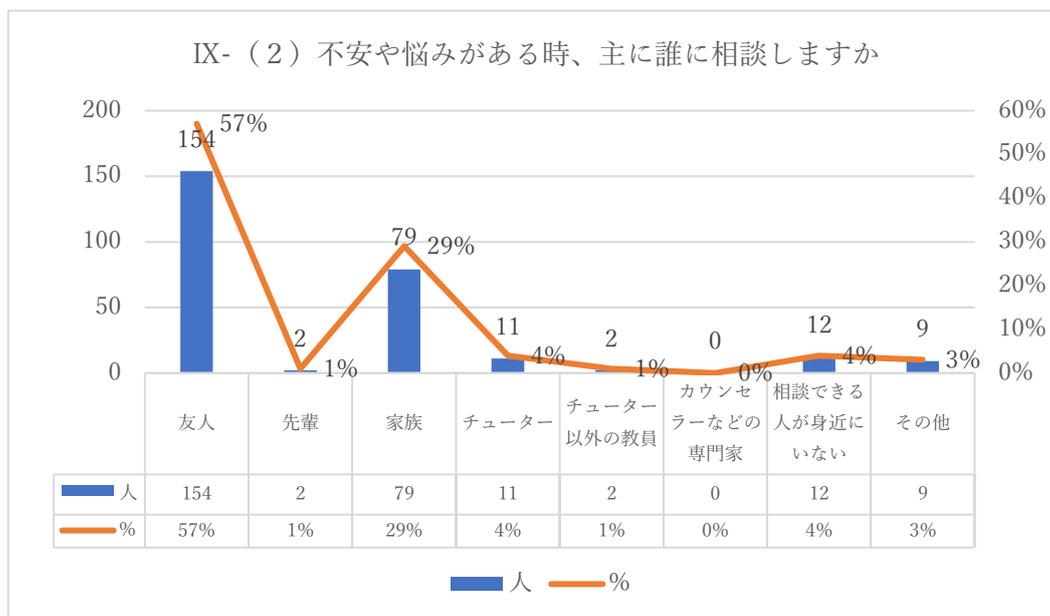


IX. 学生生活の悩みについて

(1) 現在、悩みはありますか



(2) 不安や悩みがある時、主に誰に相談しますか



IX- (1) (2) 学生生活の悩み

悩みについて、少しあるが40%と前回調査より7ポイント減少、大いにあるは6%で、5ポイント減少していた。悩みを相談する相手は、友人57%、家族29%、先輩1%、相談できる人が身近にいない4%であった。チューターは4%、チューター以外の教員は1%と悩みがあっても教員に相談している学生は少なかった。またカウンセラーなどの専門家に相談していると回答した学生はいなかった。

【自由記載の分析結果】

学習支援については 16 件の自由記載があり、主な内容は「チューターによって対応に差がある」「チューターの変更が出せるとはいえ、その後の関係性等考えると出しづらい。」などチューター制に関してであった。又、「ボイスボックスの意見が反映されている実感が無い」という意見も挙がっていた。チューター制については、これまでチューターの役割やチューターを支援する学年主任の周知など、対応を図ってきた。それにも関わらず依然、チューター制に関する意見があることから、今年度、チューター制の見直しを含めた学生支援体制の検討を行っていくこととする。

施設の室内環境については約 133 件と多くの自由記載があった。最も多い意見としては、自習室のパソコンについての不具合や使いづらさと Wi-Fi 環境に関する不便さが挙げられた。その他、休日の演習室の開館を求める意見や自習室・演習室の開放時間の延長を求める意見が多かった。前々回調査でも開放時間の延長を求める意見が多く、時間を 22 時までに変更したものの、依然として要望が多い。大学の管理的な問題があることからそれ以上の延長は難しいため、そのことについて学生に理解を促す必要がある。

また、学生会館に関する自由記載では、食事の時間に食堂の座席数が足りていない・食堂が狭い・学食の売り切れなどの意見が最も多かった。このような現状から、コンビニ自動販売機の設置を希望する声があった。学生会館や食堂については、今後検討を重ねていくこととする。

施設の室外環境については 30 件の自由記載があり、体育館・武道館への冷暖房の設置、駐輪場の拡大（原付バイク）、駐車場の使用許可を求める意見があった。これらのことについては、大部改善を重ねてきているため、学生に理解を求めていく。

大学生生活全般については 36 件の自由記載があり、最も多い意見として、事務職員の接遇に関する内容であった。接遇に関しては、事務職員だけでなく全職員に周知し、早急に改善していく必要がある。また、事務室の開館の延長を求める意見も多くみられた。大学の管理的な問題があるため延長はできないことを周知していく。

その他、自習室が騒がしく学習ができない理由から改善を求める意見や iPad 使用をはじめとする学習支援システムの向上、更に、保健師資格取得課程の開設などの要望があった。教員は授業評価を受けて各自の教育改善に取り組み、学生の学びの向上を支援していく必要がある。